



ケアラー実態調査の結果より

町社会福祉協議会が行ったケアラー実態調査（令和2年11月）から次のような声が寄せられました。

町民からの声



調査報告書はこちら

このように突然、介護が始まることで多くの人がパニックになり、地域から孤立したり、全国では、ケアラーによる悲しい事件や事故が起きています。介護は1人で抱えるものではなく、町全体で取り組む必要があります。



ケアラー情報は町ホームページにて更新中

町社会福祉協議会ではこれまで3回にわたる実態調査を行い「ケアラーズカフェ」「いのちのボタン」など、ケアラーの皆さんを支援する事業に取り組んでいます。これからも小さな声も大切に、ケアラー支援を進めてまいります。



町社会福祉協議会
本田 徹 事務局長

ケアラーの窓から VOL.5

ケアラーの悩み、お聞きします
ひとりで悩まず相談を

【問い合わせ】
町地域包括支援センター
☎ 73-2255

1 介護は家族がするものと考えている



2 支援の必要性に気づいていない



3 誰に相談してよいか分からない



4 今後の暮らしや人生に見通しが持てない



回答 栗山警察署に要望し、対応いたします
栗山警察署に問い合わせたところ「信号がなかなか変わらない」という問い合わせは過去にも数件あり、その度に感知器の点検を実施しましたがいずれも異常はな

提案 廬山と大鵬の間の交差点の信号機のセンサーについて
交差点の信号がセンサー式で、ある一定の位置に車がないと反応しないことを最近知りました。全然交通量がないのにやたら待たされるなど感じる事が何度もあり、センサーが原因とわかりましたが、後続車両となった場合、前の運転手の方へお声掛けしないと永遠に進めません。全ての方が快適に運転出来るよう看板を設置するなど、対策を講じていただけますか。
(30代女性)



新たに設置された停止看板

かつたとのことです。
また、当感知器については、中心より直径約1mの範囲を感知するもので、町職員が現地に信号の感知状況を調査し、停止線に合わせて停車した際は停車から数秒後に歩行者用信号が点滅することを確認したことから、信号機の感知器が作動しやすいよう運転者に停止線直近での停車を促すべく、指示標識「停止線（看板）」の設置について栗山警察署に要望し、協議しているところであります。
※回答文書は3月時点の内容です。後日警察署より看板を設置した旨の報告がありました。

回答 第7次総合計画とあわせて検討を進めてまいります
スキー場跡地利用については、現時点で具体的な計画は決まっておりませんが、現在、令和5年度を始期とする第7次総合計画の策定を進めているところです。
その中で、スキー場跡地利用についても、町民皆様より様々なご意見も頂戴しながら、今後検討を進めてまいります。

提案 栗山スキー場跡地利用について
スキー場跡の景観について、御大師山の秋の紅葉など町にとって誇りと言える素晴らしい景色、人々の目を惹きつけています。
しかし、閉鎖後は殺風景なもの。すでに計画済みとは思いますが、素人の考えですが、まずは予算を最小限に「景観」とを提案致します。
(90代男性)



令和元年をもって閉鎖となった栗山スキー場

皆さんからのご意見お待ちしております！

①広報折り込みの専用はがきで！

2カ月に一度、広報に折り込まれる専用はがきを切り取って、必要事項を記入してポストに投函。（切手不要）



②ファックスで！

はがきをそのまま、またはお好きな用紙に必要事項を記入して「72-3179」に送信。



③ホームページ専用フォームで！

下記アドレスから
<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=SfQnm4ig>
または町ホームページトップ画面の下部から専用フォームにアクセス。

【問い合わせ】町総務課広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501

